



2024年1月25日

各 位

会社名 ノイルイミューン・バイオテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 玉田 耕治
(コード番号：4893 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 永井 寛子
ir@noile-immune.com

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年6月28日に開示した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

(単位：百万円)

| | 事業収益 | 営業損失 | 経常損失 | 当期純損失 | 1株当たり 当期純損失 |
|-------------------------|------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 319 | △1,535 | △1,832 | △1,834 | △44円27銭 |
| 今回修正予想（B） | 316 | △775 | △1,127 | △1,130 | △27円25銭 |
| 増減額（B－A） | △3 | 760 | 705 | 704 | — |
| 増減率（％） | △0.9 | — | — | — | — |
| （参考）前期実績 （2022年12月期） | 625 | △106 | △384 | △386 | △9円87銭 |

(注) 当社は、連結財務諸表を作成しておりません。

2. 修正の理由

当社パイプライン NIB101 について、製造委託先における治験製品の製造及び品質試験の品質管理上の手順等に解決すべき課題が2023年7月頃より断続的に複数回生じたことを要因とする治験の遅れにより、実施中の第 I 相臨床試験に関する支出が減少しております。現在、製造委託先に対する継続的な監視を行うとともに、バックアップとなる製造委託先の検討を進める等、適切な対応を進めております。また、販売費及び一般管理費において発生・支出の節減に努めたことにより当初予想を全般的に下回る支出となり、赤字幅の減少を認めました。当該支出の減少について外部取引先との調整および確認等により確定までに時間を要

したことから、通期業績予想の修正を本日お知らせすることとなりました。

なお、各損益項目の内訳については、以下のとおりです。

(事業収益)

事業収益は、共同パイプラインの進捗によるマイルストーン収入等を積み上げることにより算出しております。当初 319 百万円を見込んでおり、ほぼ見込どおりの 316 百万円となります。

(事業費用、営業損失)

事業費用は、研究開発費並びにその他の販売費及び一般管理費等で構成されております。

研究開発費の主な内容は NIB101 の第 I 相臨床試験の開発費用であり、開発計画に基づく治験実施支援機関への外部委託費用等を考慮し、1,294 百万円を見込んでおりましたが、上記の要因により、約 647 百万円減少し、研究開発費は 647 百万円となります。

また、その他の販売費及び一般管理費の主な内容は人件費（派遣社員費用等で構成される支払手数料を含む）、特許関連費、専門家等への外注費、及び地代家賃等となっております。2023 年 12 月期においては、上場準備のための臨時的な人件費と専門家への外注費、上場に伴う増資にかかる租税公課（外形標準課税額）、広告宣伝費等が増加することを考慮し、当初 560 百万円を見込んでおりましたが、発生・支出の節減に努めたことにより 117 百万円減少し、当初予想を全般的に下回る 443 百万円となり赤字幅の減少を認めました。

事業費用合計では当初 1,854 百万円を見込んでいたところ 764 百万円減少し、1,090 百万円となります。

上記の結果、当初予想による営業損失△1,535 百万円は 760 百万円減少し、△775 百万円となる見込みです。

(営業外損益、経常損失)

営業外損益について、当初予想では新規上場に伴う株式交付費等を中心として 296 百万円の営業外費用を見込んでおりましたが、58 百万円増加し 354 百万円となりました。

営業外項目を考慮した結果、当初予想における経常損失は△1,832 百万円を見込んでおりましたが、705 百万円減少し、△1,127 百万円となります。

(特別損益、当期純損失)

特別損益は当初の見込みどおりです。

以上の結果、当初の当期純損失は△1,834 百万円を見込んでおりましたが、704 百万円減少し、△1,130 百万円となります。

以上